

総論

満点	80点	目標得点	60点	試験時間	90分	偏差値	70
大問数	5	小問数	53				
【解答形式】		選択式	47/53問	記述式	6/53問	論述式	0/53問
【問題難易度】		C	1/53問	B	16/53問	A	36/53問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：文章のレベルと問題のレベルは、早稲田大学の中では「標準的な」レベルと言える。難問、奇問の類の問題はほとんどなく、長文読解問題をベースに、文法・語法、英作文など、総合的に問うてくる。
- 2：会話文問題、長文読解問題ともに、内容一致文完成と空所補充と同意語句が中心だが、英文和訳と和文英訳も問われる。英文和訳と和文英訳は標準的なものであり、記述問題であるために配点が高いと思われるので、落とすことはできない。
- 3：今年度は例年とは異なり、エッセイの長文問題がなくなり、代わりに会話文問題が1題増え、会話文問題2題、長文読解問題3題となった。一つ一つの長文問題の語数はそれほど多くなく、語彙のレベルもそれほど高くない。

こんな力が求められる！

端的に述べると、①基本的な語彙力と②速読力と言えるであろう。

①の基本的な語彙力に関しては、本文中も問題も、それほど難しい単語やイディオムは出てこないで、基本的な語彙で構成されている。しかし、そこで求められているのは、基本的な語彙をどのくらい広く深く理解できているかということだ。この傾向に対応するための学習方法としては、日ごろから、『でか単』や『完熟』の見出しだけでなく、例文や派生語などにもしっかりと目を通しておくことが挙げられるであろう。学習の目安として、夏休みまでに『でか単』のPART2までは確実に押さえておくのが望ましい。

②の速読力に関しては、本学部の問題は、2000語以上の英文と約50題の問題を90分で「いかに正確に処理していくか」がポイントとなるので、基本的な文法事項、基本的な構文把握能力を駆使して、できるだけスムーズに「左から右へ」、「上から下へ」と読解していける能力は必要不可欠となってくるであろう。その上で、パラグラフごとに内容をまとめられる力、本文全体を見通して端的に要約できる力などが求められる。このような能力を身につけるために、普段のテキストのReadingの予習・復習の際に、問題として問われていなくても「パラグラフを要約すること」や「文章全体を要約すること」を意識的に行うことが望ましい。さらに、本年度から会話文が2題に増えていることを考慮すると、会話文に慣れておくことは必要不可欠である。読解問題の対策としては、本文のレベルはセンター試験とほぼ同じレベルであるので、センター試験の過去問演習を前期の間できるだけ多くやっておくことは有効である。

本学部の英文と問題のレベルは標準的なものであるので、OSレベル、Advancedレベルのテキストを習熟していれば、「余裕で」合格圏に達することができる。基本的な語彙力・文法力・読解力を日ごろの学習からきちんと構築し、それらをスムーズに運用できるようになることを意識して日ごろの学習に取り組もう。

【I】

予想配点	12/80 点	時間配分の目安	15/90 分
出題内容	会話文問題 [Word 数] 336 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] 就職活動をしている学生 2 人の仕事と将来に関する会話		
出題形式	空欄補充 (選択)、同意語句、同意文、英文和訳		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す		
設問 1	(1) A (2) A (3) A (4) A (5) A		
設問 2	(イ) B (ロ) A (ハ) A (ニ) B		
設問 3	A (予想配点：設問 1、2 が各 1 点、設問 3 が 3 点)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	O S 早慶英語の Practical Exercise、Advanced 英語テキストの READING		

●本大問の特徴・概要

- ・標準的なレベルの会話文であり、語数もそれほど多くなく、2 人の学生のスタンスも読み取りやすい。「就職活動」というテーマ自体も、高校生でもそれなりに馴染みのあるテーマであると思うので、本文自体は読みやすいと思う。
- ・設問もそれほど難しいものはないが、設問 2 の同意語句選択問題はやや難しい。早稲田大学は全学部的に同意語句・同意文問題を問うてくる傾向があるので、日ごろの読解問題演習の際に、パラフレーズを意識することは重要である。基本的な英語力と会話文にある程度慣れていれば、「2 問間違え」でクリアできるであろう。

●注目すべき小問

設問 2. (イ)

「be stuck : (仕事などが) 行き詰る」、「dead-end : 行き詰まりの」というやや難しい表現が問われている。これらの表現を知っておけばある程度容易に正解へとたどり着けるが、直後の“doing the same thing”という表現、さらには、次の文の内容から、「他の選択肢を持たない」、「一つのことだけに専念する」という内容であることは読み取ることはできる。早稲田大学の同意語句・同意文選択問題は①そのまま知識を問うもの、②直訳からイメージできるもの、③文脈から解くものの 3 種類に大別できるが、この問題は③のタイプであると言える。したがって、「語法的な知識がなくとも、諦めずに何とか文脈から正解へたどり着けること」を意識しておくことは重要である。

設問 2. (ニ)

「take a rain check : (今回は無理であるが) 次の機会には受け入れることを約束する」というやや難しい表現が問われている。“take a rain check”は確かに会話文でよく使われる慣用表現なのであるが、今回の問題では知らなくても会話の文脈で解くことはできる。この問題も、(イ) の問題と同様に上記の③のタイプに当てはまる。直前の“but”と直後の“I have to meet my cousin.”という発言から、「今回は食事に行けない」ということを読み取ることができ、さらに、次の Anna の“let’s get together when you’re less busy”という発言から、「今後食事に行く」ということがわかるので、「今回は断るが、次は是非とも行きたい」という趣旨を表せる選択肢を選ぶことはできる。

【Ⅱ】

予想配点	18/80 点	時間配分の目安	20/90 分
出題内容	会話文問題 [Word 数] 565 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] 学生生活についての大学教授へのインタビュー		
出題形式	内容一致文完成、同意語句、同意文、長文その他(代名詞の指示内容を抜き出す)、和文英訳		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す		
設問 1	1. A 2. A 3. A 4. B 5. A		
設問 2	(1) A (2) B (3) B (4) A		
設問 3	A 設問 4 A (予想配点：設問 1 が各 2 点、設問 2, 3 が各 1 点、設問 4 が 3 点)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	○ S 早慶英語の Practical Exercise、Advanced 英語テキストの READING		

●本大問の特徴・概要

- 標準的なレベルの会話文であるが、語数がやや多い。インタビュー形式で問われている質問が明確であり、それぞれの質問に対して教授がどのような点を指摘しているかを読み取れば、それぞれの問題は比較的容易に正解へたどり着けるであろう。会話文の形式であるが、普通の長文読解問題と同じようなスタンスで臨む方が良いと思われる。「学生生活」に関するテーマも、とっつきやすいものであったと思う。
- 設問もそれほど難しいものもないが、差がつくとしたら設問 2 と設問 4 であろう。設問 4 の英作文に関しては、標準的なものであるが、英作文にある程度書き慣れているということは重要である。お茶ゼミのテキストには、必ず英作文に関する問題が掲載されているので、日ごろの授業で扱った問題を大切に、基本的なセンテンスは難なく書けるレベルにしておきたい。

●注目すべき小問

設問 1. 4

早稲田大学の他の学部でもよく見られる、「言い過ぎ」であるために内容と一致しないというパターンであり、「concentrate on ～：～に集中する」というのが「言い過ぎ」である。本文では、最後の Light の発言にあるように、「課外活動に関わっている生徒 (students who are involved in extracurricular activities)」と書いてあるので、concentrate on は「言い過ぎ」である。さらに、“so that 以下”の部分も本文には言及されていない。

設問 2. (2)

“It takes some initiative.”という文の同意文を選択する問題。正解するためには、「take ～：～が必要である」、「initiative：主導権、自発性、進取の気性」という知識が必要である。“initiative”に関しては、「イニシアティブを握る」といったように日本語でも使われる表現なので、「主導権」という意味が真っ先に想起するかもしれないが、「自発性」という意味もあることを覚えておこう。“initiative”の書き換えとして、「act on one’s own：自発的に行動する」というイディオムが使用されている。

設問 2. (3)

“their first year was too anonymous.”という文の同意文を選択する問題。ポイントとなるのは、“anonymous”という単語である。「anonymous：匿名の」という意味は多くの人々が知っているが、この問題はそこから文脈に従って意味を派生的に推測する必要がある。直訳すると「最初の 1 年間は匿名である」となるが、「匿名の」→「名もない」→「特徴がなくわかりにくい」という展開で予測し、文脈から「あまり幸せではない学生たちが最初の 1 年間について回想的に振り返る」という状況であることが読み取れるので、「not memorable：記憶・心に残らない」を選ぶ。

【Ⅲ】

予想配点	18/80 点	時間配分の目安	15/90 分
出題内容	長文問題 [Word 数] 438 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] 運動することによるダイエットの効果		
出題形式	内容一致文完成、同意語句、長文その他 (助動詞 can の用法)、英文和訳		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す		
設問 1	1. B	2. A	3. A 4. A 5. A
設問 2	(1) A	(2) A	(3) A (4) A
設問 3	A	設問 4	A (予想配点：設問 1 が各 2 点、設問 2, 3 が各 1 点、設問 4 が 3 点)
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	○ S 早慶英語の Practical Exercise、Advanced レベルの READING、長文マラソン		

●本大問の特徴・概要

- ・ 英文は標準的なレベルのものであり、語数も多くなく、テーマとしても「運動とダイエット」というある程度馴染みのある話題であり、論旨も明快であったので、それほど難しくはないであろう。この文章は、「世間の常識」＝運動すれば痩せる―「筆者オリジナルの見解」＝運動しても痩せない、むしろ太る、という二項対立の文章であったが、「世間の常識」と「筆者オリジナルの見解」という二項対立の文章は、評論文においては典型的なパターンなので、文章を読むものとして知っておいたほうが良いであろう。
- ・ 設問自体もそれほど難しくはなく、最低 15 分は掛けられるという点から考えても、「全問正解か 1 問間違い」でクリアーしたいところである。

●注目すべき小問

設問 1. 1

内容一致文完成問題でよく使用される表現である、“contribute to ～”という表現が問われている。「contribute to ～：～に貢献する、～の一因となる」という訳語を覚えている人は多いと思うが、「<原因> contribute to <結果>」という図式になることもしっかりと意識しておこう。つまり、この文は、「人々に身体的な運動をやるように強いること」が<原因>となり、<結果>として「肥満の問題」が生じるということになるが、本文にはそこまで述べていない。本文での主張としては「運動をすることが必ずしも肥満の解消にはならない。運動することで空腹を刺激し、食べたり飲んだりするので体重は減るとは限らない」ということなので、本文の内容とは合致しない。

設問 2. (1)

「melt off ～：」という表現の同意語句を選択する問題。“melt off ～”という表現を知らなくとも、文脈から解ける問題である。後続の「in fact：(いや) 実際には」という表現が決め手となり、“melt off ～”と“add ～”が反対の意味であるということがわかる。よって、「add ～：～を増やす」の反対の意味である「reduce ～：～を減少させる」を選ぶ。ただし、単語のイメージからも解答はできる。「melt：融ける、融けてなくなる」という基本的な意味を知っているならば、目的語に“the weight”があるので、「体重を減らす」という意味であることは推測できるであろう。

設問 4.

標準的な英文和訳問題であるが、重要な表現が幾つか入っている。構文としては、“help O C”の“SVOC”になっており、C の位置に「動詞の原形 (lose)」が来ている。“help”は C として「to 不定詞」と「動詞の原形」が取れることに注意しよう。さらに、「in other words：言い換えれば」、「not necessarily ～：必ずしも～ない」という標準的な重要表現が出ている。

【IV】

予想配点	14/80 点	時間配分の目安	15/90 分
出題内容	長文問題 [Word 数] 392 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] メキシコにおける障害者の雇用状況		
出題形式	空欄補充 (選択)、整序英作、英問英答		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す		
設問 1	(A) A (B) B (C) B (D) C		
設問 2	B		
設問 3	1. A 2. A 3. A 4. B (予想配点：設問 1 が各 1 点、設問 2, 3 が各 2 点)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	○ S 早慶英語の Practical Exercise、Advanced レベルの READING、長文マラソン		

●本大問の特徴・概要

- ・英文は標準的なレベルのものであり、語数も多くない。若干難しい語彙やわかりづらい表現も見受けられるが、論旨が複雑でないので、「メキシコの障害者の雇用状況」というテーマを読み取り、全体として「メキシコ政府が積極的に障害者に対する政策に取り組んでいること、メキシコの障害者が空港で活躍していること」という内容は理解できるであろう。
- ・設問もそれほど難しいものはないが、設問 1 の (D) は正解の決め手となる確固たる根拠はなく、“passing through”という表現とのコロケーションから「routinely：いつものように」を選ぶのは難しい。この問題を差し引いても、「2 問間違え」でクリアーしたいところである。

●注目すべき小問

設問 1. (C)

“launch ～”という表現を問うている、やや難しい空欄補充問題。「launch ～：(船)を進水させる、(ロケット)を打ち上げる、(事業)を始める」という意味で、正解の決め手となるのは、目的語の“a number of initiatives”である。ここでもまた、“initiative”がポイントとなっているのであるが、【II】で述べたように“initiative”には「進取の気性、新規的事業、新規構想」という意味がある。

設問 2.

過去分詞の修飾がある整序英作文問題。“set”は無変化形の動詞なので、どの形であるのかを考えなければならぬ。整序の決め手となるのは、“is”と“by”であろう。“is”は動詞としてしか使えないので動詞として考える。“by”は「受身の動作主」を表せるので、“set”を「過去分詞」として使用し、“by”と接合させる。“rare”を“is”の C として考え、“by”の後に“the airport”を置く。整序英作文は「文の意味」ばかり考えてしまうと、時間がかかるし間違えやすくなってしまうので、できるだけ「文法的・語法的」に考え、最後に「意味」を確認することが重要である。

設問 3. 4

やや難しい英問英答問題。最終パラグラフの内容が問われている。最終パラグラフの最終文に出てくる“businessmen”がメキシコの空港で働いている障害者に仕事上の同僚として雇用することについて尋ねている。“hiring his counterparts”という表現が最大のヒントとなり、選択肢 (d) を選ぶ。他の選択肢が明らかに一致しないので、消去法で解答することが望ましいが、最終パラグラフで出てくる“businessmen”が、何を表したい具体例なのかを考えることが重要である。

【V】

予想配点	18/80 点	時間配分の目安	20/90 分
出題内容	長文問題 [Word数] 596 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART2 [長文テーマ] 住居を交換することによる旅行の方法		
出題形式	英問英答・同意語句・同意文・空欄補充 (選択)・表題・和文英訳		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す		
設問 1	1. A 2. A 3. A 4. B	設問 2	(1) B (2) B (3) B
設問 3	(イ) A (ロ) A (ハ) B	設問 4	A 設問 5 B
	(予想配点：設問 1 が各 2 点、設問 2, 3, 4 が各 1 点、設問 4 が 3 点)		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	○ S 早慶英語の Practical Exercise、Advanced 英語テキストの READING、長文マラソン		

●本大問の特徴・概要

- ・英文は標準的なレベルのものであるが、語数がやや多い。テーマとしては、「住居を交換して旅行を行う (home-exchange)」というもので、本文中にも書いてある通り、あまり馴染みのない話題であるが、“home-exchange”について概要が第 1 パラグラフから第 3 パラグラフの前半部で説明されているので、この部分を読み取ることができれば、その後の論旨も明快であったので、それほど苦勞することなく全体を読み通すことはできるであろう。
- ・設問もそれほど難しいものではなく、最低でも 20 分は掛けられるという点から考えても、「最低でも 2 週間違い」でクリアしたいところである。

●注目すべき小問

設問 2. (2)

“deal”という表現を問うているやや難しい同意語句問題。“deal”は名詞と動詞の用法がある多義語であり、本文では名詞として使用されている。「deal：量、程度、契約、計画」という意味があり、本文では「契約」の意味で使用されている。

設問 3. (ハ)

動詞を問うているやや難しい空欄補充問題。本文より他動詞を入れるということはわかり、“argue”と“dismiss”で悩むと思われる。「dismiss ～：～を捨てる」を選ぶ決め手となるのは、第 5 パラグラフでは“home-exchange”に関する「プラス面」が述べられていて、第 6 パラグラフでは「マイナス面」が述べられているというようにマクロ的に読めること、さらには、“Some — Others”の対応から、“home-exchange”を否定的に捉えているということがわかるので、“dismiss”の方が好ましい。

設問 4.

設問 4 のような表題 (タイトル) 問題というのは、「本文の最も短い要約」を示すということなので、本文の第 1 パラグラフから最終パラグラフまで共通して述べられている「大きなテーマ」をマクロな視点から大きく読み取ることが重要である。この設問自体は間違い選択肢が明らかに間違いだとわかるので消去法で難なく正解へと辿り着けるが、読解力の養成という点から考えて、積極的に正解が選べるようにしたい。日ごろの長文読解演習の際に、問題として問われていなくても、「1 フレーズで、1 センテンスで」本文を要約することを心掛けよう。

設問 5.

形式主語構文の英文和訳問題。“it”が“how”以下を指示している形式主語構文であるのはわかるが、「anybody’s guess：予想できない、分からない」という表現がやや難しい。早慶レベルの受験生としては知っておきたい表現であるが、直訳的に「誰もの推測」→「誰もが推測するようなもの」→「誰もが推測で留まり、明確にはわからない」という単語レベルでの予測と、下線部の次の“After all, ‘swapping’ is not for everyone”という表現から、「わからない」という意味は何とか読み取れるであろう。